



新年度が始まり、みなさんもようやく新しい環境にも慣れてきたころでしょう。まあ、最初からあまり気張っていても疲れてしまいますが。

さて、今回はインターネットで買える産地直送販売の食品を注文してみました。産直ならではのとれたての味が堪能できるでしょうか。

LIFE WITH INTERNET

通販生活編 19 旅とグルメの達人 愚留目 都亜

【日本全国からうまそうな産地直送食品を集めてみたぞ!】

この号が売り出されるのは4月28日ということで、新年度の最初の1か月が過ぎようとしています。すなわち、消費税が5パーセントとなって1か月ということでもあります。

まあ、海外の付加価値税を見れば、17.5パーセントのイギリス、20.6パーセントのフランスなどを筆頭に、まだまだ高いところはありますが、ハワイの税率よりも高くなったのは確かで、これからの将来が不安になります。

もちろん、納税は義務なので喜んで納めますが、ちゃんと有効に使ってくれることを願ってやみません。税収入が増えるからといって、支出が増えていては問題です。できれば、まるごと国の借金の返済分に充ててほしいものです。

当然ながら、納税者自らも税金の使われ方をチェックすることが必要だと思います。日本で一番就業人口の多いのは、いわゆるサラリーマンと呼ばれる職種です。通常のサラリーマンなら、税金は給料から源泉徴収され、さらに年末に年末調整という処理が行われて、会社の経理のほうですべてを行ってくれます。そのため、税金のしくみを知らない人が大半で、自分の納税額を正

確に把握している人はほとんどいないのではないのでしょうか。

このあたりの事情から、日本人は税金の使われ方をあまり気にしないのでは、と思ったりします。まずは、年末にもらう源泉徴収票と来月あたりにもらう住民税決定通知書をながめ、自分の年間の税額を計算してみませんか？

そうそう、4月28日といえば、私たち夫婦の結婚記念日の前日です。1年というのはあっという間に過ぎるものですね。そろそろ気分転換に海外にでも出かけようかと考えている今日このごろです。なんせ、まるまる4か月も日本にいるわけで、ちょっとのんびりしたくなってきたのです。今度はどこに行くのかなあ。

さて、今月のLIFE WITH INTERNETでは、日本各地の特産品を特集します。特産品と言ってもいろいろありますが、そこはやっぱり「食」が一番というわけで、特産食品を4つ選ぶことにしました。そして、この4つの商品で1回の食事の主要な食材が揃うように選びました。

最初の商品は、日本人の食事の基本中の基本として「お米」を選ぶことにしました。www上でお米を販売しているお店は数

多くありますが、今回はお米の生産者自らが直販しているwwwを見つけたので、そこから無農薬栽培米を買うことにしました。

2番目の商品は、おかずの中心となるものとして「魚」を選ぶことにしました。北海道のお店で鮮魚などをwww上で販売しているところがあったので、そこから買うことにしました。ここでは、毛ガニ、タラバガニ、エビなど、おいしそうなものがいっぱいあるのですが、今回はウニとシシャモを選んでみました。

3番目の商品としては、おかずをもう1品選ぶことにし、いろいろ探してみました。結局、島根県の出雲地方の特産「かまぼこ」を買うことにしました。このかまぼこは、とび魚から作るもので、「あご野焼」という名前が付いています。

最後の商品は、食事のあとにいただく「果物」を選ぶことにしました。これまた日本各地でいろいろな果物が販売されていますが、今回は青森県の「りんご」を買うことにしました。ちょっと時季遅れという感はぬぐえませんが、まあよしとしましょう。

さて、今月号の4つの商品は思ったように手に入り、おいしく食べることができるとでしょうか。来月号をお楽しみに。

商品番号

71
番

オーダーメイドのスーツ

URL <http://www.ohnishi.co.jp/georgebell/>

先月の「新生活グッズ特集」の最初の商品は「オーダーメイドのスーツ」でした。2月20日にwwwで注文したところ、翌日支払い方法をたずねるメールが届きました。商品は、3月13日に宅配便で届きました。価格は、商品が40,000円で、消費税の1,200円と送料1,000円が加わり、合計で42,200円でした。支

払いは銀行振込(前払い・後払い)代引き、日本信販クレジットの4種類のうち、今回は後払いの銀行振込を利用。スーツはサイズもぴったりでなかなか良かったです。なお、お店に型紙が保管されるということで、今後の注文も簡単にできます。また、来店しての受け取りなども可能とのことです。



商品番号

72
番

ビジネスバッグ

URL <http://www.ask.or.jp/~inu/>

先月の2番目の商品は「ビジネスバッグ」でした。2月21日にwwwで注文したところ、23日に5、6日で届けられるとのメールが来ました。商品は2月26日に宅配便で届けられました。価格は8,137円で送料は無料です。支払いは郵便振替でした。届いた商品は、wwwでの印象とはかなり感じが違っていました。仕事で持つバッグとしてはちょっと無理があるようで、どちらかというと学生向けといった感じです。



商品番号

74
番

先月の4番目の商品は「ロットリングのペン」でした。2月21日にwwwで注文したのですが、その後音沙汰がありませんでした。そこで、

ロットリングのペン

URL <http://www.artbrown.com/>

3月6日にメールしたところ、翌日に「クレジットカードの番号を教えてください。すぐに商品を送る」とのメールが届きました。商品は3月17日に航空郵便で届きました。価格は、商品の40.00USドルに送料と手数料の25.00USドルが加わり、合計65.00USドルでした。支払いはクレジットカードで、決済金額は8,154円でした。



商品番号

73
番

スウォッチの腕時計

URL <http://www.d-d.co.jp/parksgallery/>

先月の3番目の商品は「スウォッチの腕時計」でした。2月21日にメールで注文したところ、翌日に「入金確認後に商品を送る」とのメールが来ました。その後、入金したのですが、しばらく商品が届きませんでした。3月6日になってメールでその旨を問い合わせたところ、銀行からの通知で振込人名の後ろが切れていて確認ができなかったそうです。結局、商品は3月10日に郵便で届きました。価格は、商品の5,665円に、振込手数料分の309円が加わって合計で5,974円となりました。送料は無料です。



ここで表示されている価格は2月末のもので、消費税の関係上、4月以降は価格が変更されている場合がありますので、ご注意ください。

商品番号

75

番 新潟の無農薬栽培コシヒカリ

URL <http://www.inet-shibata.or.jp/~sac/>



tips!
 通販で重要なのは、送料をチェックすること。特にお米などの重いものを注文するときはおさらだ。ここでは、10kgのお米には送料として1,100円が必要。

▲今回は、「無農薬コシヒカリ」を10kg購入することにした。価格は消費税込みで5,500円。5kgだと3,000円となる。

今月の「各地の特産食品」特集の最初を飾るのは、「お米」です。まずは、日本の主食であるお米を買うことにしました。

ここで紹介するのは、「インターネット新発田」上の「新潟インターネット通販IT米が買えるおすすめショッピングサイト

事業部」のページで通信販売をしている、「新発田農園」です。

この新発田農園は、お米の生産農家で、実際に無農薬で栽培したコシヒカリを直接販売しています。商品は「無農薬コシヒカリ」と「無農薬コシヒカリ(玄米)」の2種類です。

価格は、5kgが送料込みで4,000円弱、10kgが6,000円強となり、多少割高となります。生産者の無農薬米の直販というメリットをどう評価するかが決め手となるわけです。

なお、新潟インターネット通販のページには、ほかに魚沼産コシヒカリなどを販売するお米屋さんも出店しています。

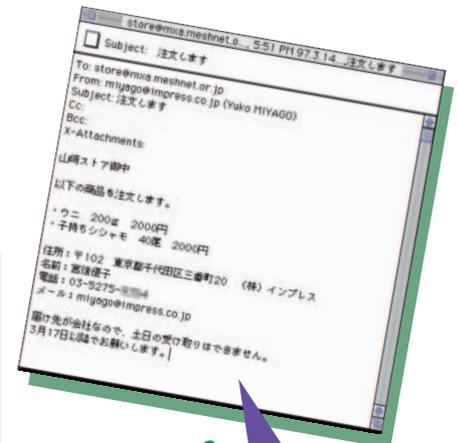
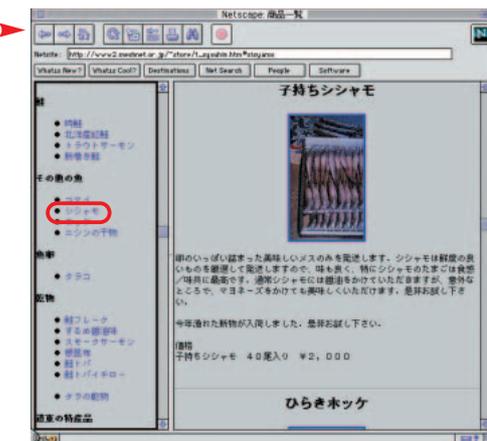
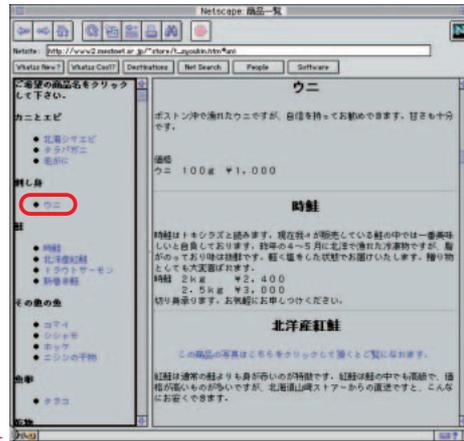
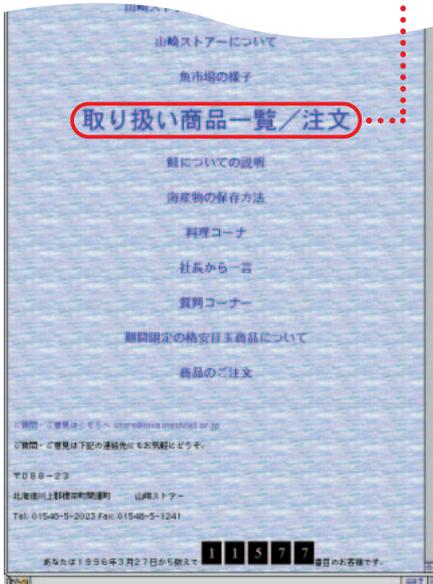
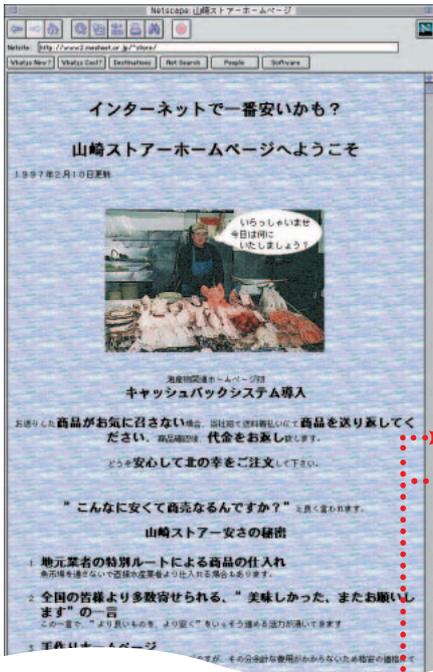
 新潟産のコシヒカリをそのまま発送(日本)
新印米穀
 URL <http://www.bsnnnet.co.jp/hanbai/kome/>

 お米のほかに野菜も販売(日本)
バーチャル八百屋
 URL <http://www.yaoya.com/>

商品番号

76番 北海道のウニとシシャモ

URL <http://www2.meshnet.or.jp/~store/>



Tips!

通販で食品を購入するときには気を付けなければならないのは、商品が「なまもの」の場合の配達日だ。確実に受け取れる日を配達日として指定しておこう。

▲今回注文したのは、「ウニ」100g入りを2パックと、「子持ちシシャモ」40尾入り1箱。価格は合計で4,000円。

ここで表示されている価格は2月末のもので、消費税の関係上、4月以降は価格が変更されている場合がありますので、ご注意ください。

「各地の特産品特集」の2番目の商品は、「北海道のウニとシシャモ」です。ごはんのおかずとして海産物を用意することにしました。ここで紹介するのは、meshnet上にウェブサイトを用意して通販を行っている、北海道の標茶町(しべちやちょう)にお店を構える「山崎ストア」です。山崎ストアの取り扱い商品は、海産物、鮮魚、野菜、果物、精肉などですが、そのうちの海産物、鮮魚などの通販をしています。

送料については、30kgまでは関東圏で1,500円、関西圏で1,800円となっています。まとめ買いをすれば、送料を考慮しても安く購入できそうです。なお、支払い方法は代引きのみの取り扱いです。今回注文した商品のうちのウニは、ポストン沖でとれたものとのこと。このページの表題である「北海道の...」に合ってますが、とりあえずウニが食べたいので、よしとしてください。

海産物が見えるおすすめショッピングサイト

 毛ガニ、荒巻鮭、ホタテなど (日本)
NetShop北海道
 URL <http://www.byse.co.jp/netshop/>

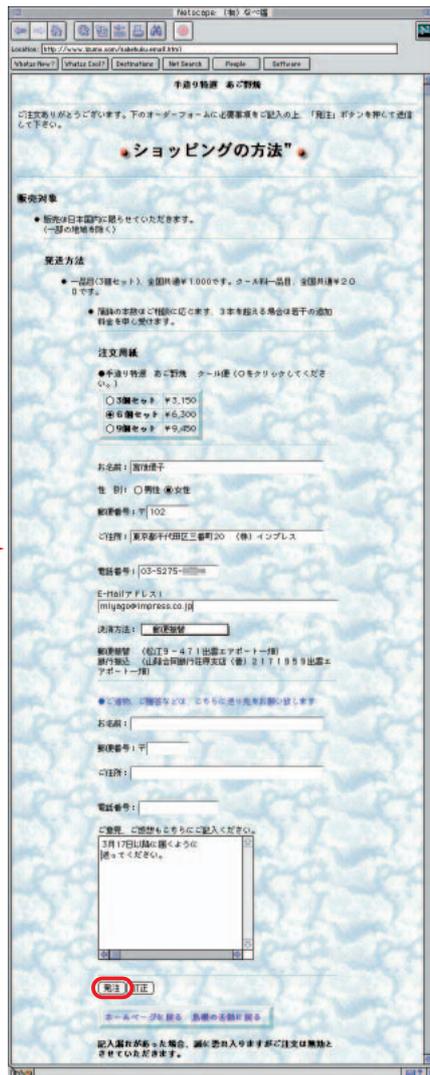
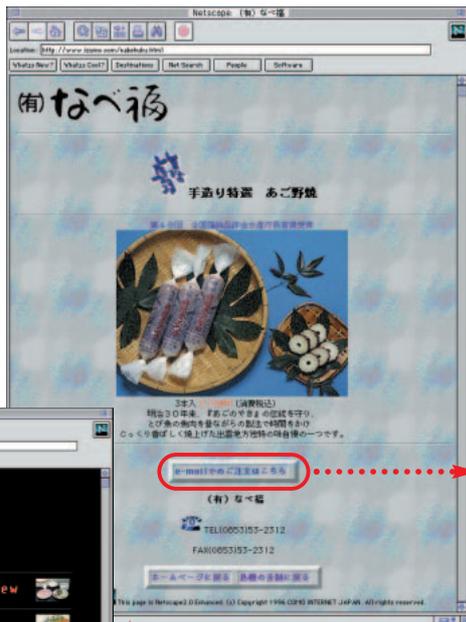
 フグ、カレイなど北九州の味を産地直送で(日本)
豊後水道ぐるめ紀行
 URL <http://heart.coara.or.jp/VSHOP/NewVSHOP/shop/29shop/29shop.html>

商品番号

77

番 島根のあご野焼

URL <http://www.izumo.com/sita.html>



▲今回注文したのは、「あご野焼」の6個セット。価格は、6個で税込み6,300円となります。別に送料として、1,200円+が必要です。

今回の読者プレゼントはお休み
5月号よりこのコーナーで注文した商品を読者にプレゼントする企画がスタートしました。が、今回は食料品ということで、プレゼントはお休み(編集部で食べちゃいます。ごめんなさい)、次号をお楽しみに。

5月号読者プレゼントについて
当選者は次号7月号で発表する予定です。

「各地の特産品特集」の3番目の商品は、「島根のあご野焼」です。おかずの2品目としてかまぼこを選んでみました。ウニとシシャモに続いてまたまた海産物ですが、担当編集者のたつての希望により、あご野焼(あごのやき)に決まりました。

ここで紹介するのは、「COMO INTERNET JAPAN」の「島根の舌鼓」のページに出店している「有限会社なべ福」です。なべ福では、あご野焼の伝統の味を明治30年以來守り続けているとのこと。「島根

の舌鼓」には、16店のお店が出ていて、海産物を中心に肉やお菓子のお店もあります。

あご野焼とは、「とび魚の魚肉をじっくり香ばしく焼き上げた出雲地方独特のもの」と説明されています。価格は3本入りで3,150円で、クール便での発送となるので、送料がさらに1,200円必要です。6本入り、9本入りについては、送料が若干高くなるとされていますが、具体的な追加額は分かりませんでした。

商品番号

78番 青森のりんご

URL <http://www.jomon.or.jp/~osato/>

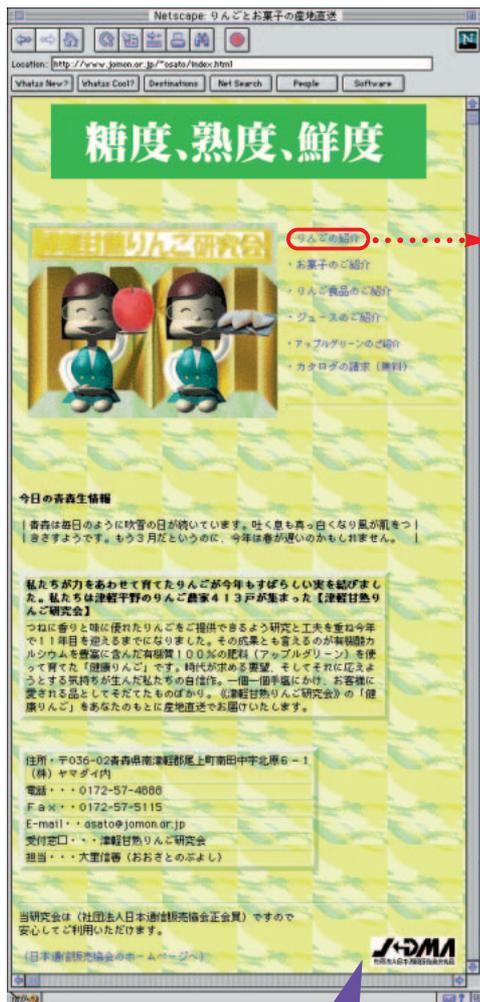
今月の「各地の特産品特集」の最後の商品は、「青森のりんご」です。ごはん、鮮魚、かまぼこの食事のあとの果物として、りんごを食べようということになりました。

ここで紹介するのは、「JOMON Internet Service」内に outlet している「津軽甘熟りんご研究会」のウェブサイトです。津軽甘熟りんご研究会は、津軽平野のりんご農家413戸が集まってできた会で、りんごだけでなく、アップルパイなどのりんごを使ったお菓子や、りんご酢やりんごドレッシン

グなどの食材、そしてりんごジュースなどの販売をしています。

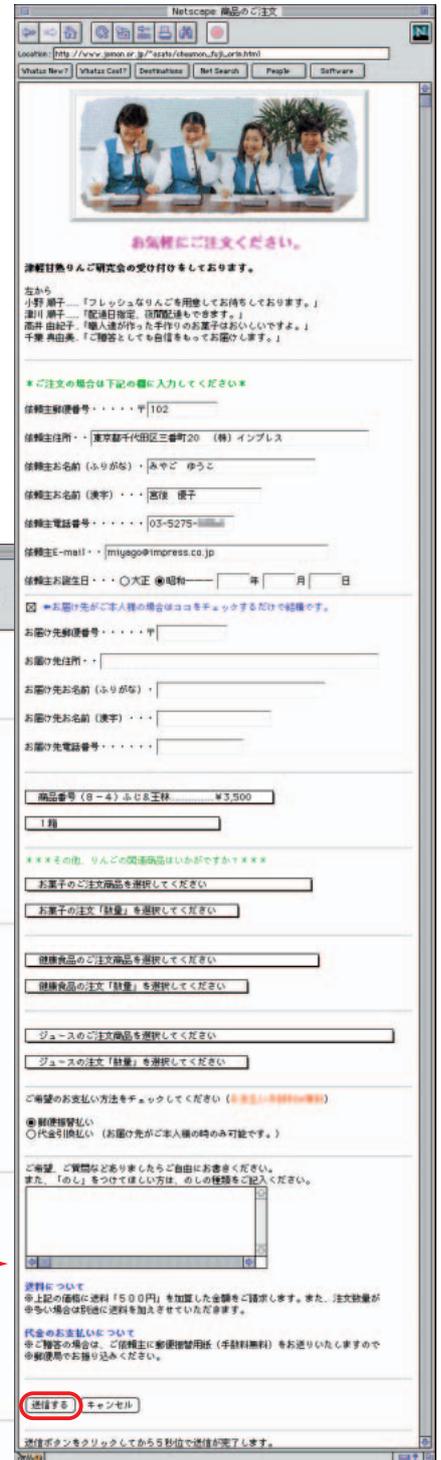
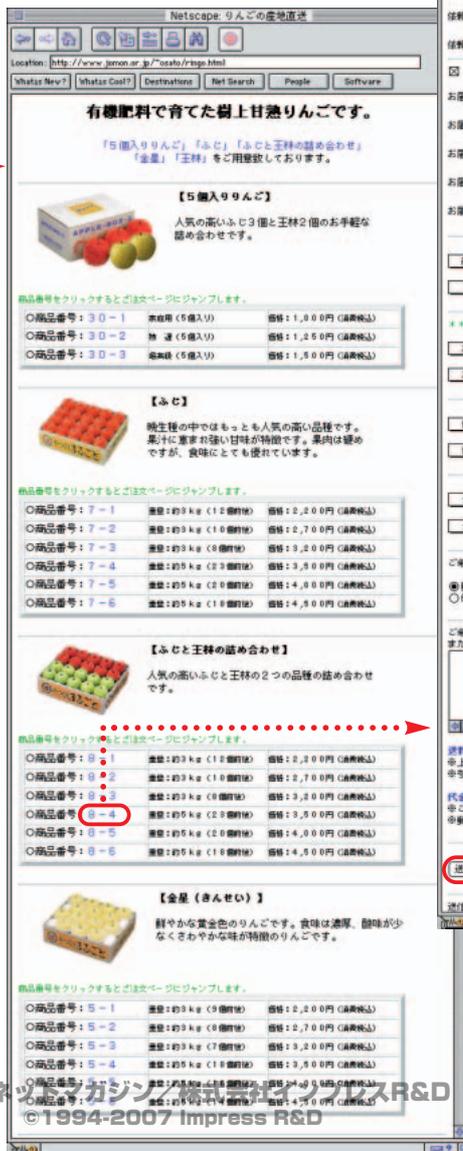
送料として500円が必要で、注文数が多いときは多少加算されることもあるとのこと。全国一律500円というのは、安いほうではないでしょうか。代引き送付の場合の追加料金もなさそうです。

支払いは郵便振替が代引きかを選択となります。なお、郵便振替の際の支払い手数料は必要ないとのこと、細かい心配りが感じられます。



この「JADMA」マークは、「社団法人日本通信販売協会」のマーク。この協会の会員なら、通販のお店としての信用度もあるといえる。

Tips!



▲ここで注文したのは、「ふじと王林の詰め合わせ」の約5kg（23個前後入り）のもの。価格は税込みで3,500円。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp